

鉛同位体比による青銅器の研究 主要文献（自著）

元東京（国立）文化財研究所 馬淵久夫

1982～1987

鉛同位体比法による漢式鏡の研究 馬淵久夫・平尾良光 1982, MUSEUM 370 pp.4-12

鉛同位体比法による漢式鏡の研究（2）・西日本出土の鏡を中心として・ 馬淵久夫・平尾良光 1983, MUSEUM 382 pp.16-30

鉛同位体比からみた銅鐸の原料 馬淵久夫・平尾良光 1982, 考古学雑誌 68 巻(1) pp.42-62

東アジア鉛鉱石の鉛同位体比 馬淵久夫・平尾良光 1987, 考古学雑誌 73 巻(2) pp.71-82

∞ ∞ ∞

2007～2018（単著）

鉛同位体比による青銅器研究の 30 年ー弥生時代後期の青銅原料を再考するー 2007 考古学
と自然科学 55 号 pp.1-29

鉛同位体比からみた三角縁神獣鏡の舶載鏡と仿製鏡 2010 日本考古学 第 29 号 pp.1-18

漢式鏡の化学的研究『考古学と自然科学』

(1) 鏡鑄造時に鉛は加えられたか 2010, 61 号 pp.1-16

(2) 鉛同位体比の「前漢鏡タイプ」から「後漢鏡タイプ」への移行について 2011, 62
号 pp.43-63

(3) 鉛同位体比法に鉛モデル年代の導入を提案する 2012, 63 号 pp.1-27

(4) 後漢中期以降の漢三国晋鏡の原材料産地 2014, 66 号 pp.1-24

(5) 平原遺跡出土銅鏡の製作地について 2016, 70 号 pp.29-48

(6) ミシシッピバレー型鋳床鉛の産地 2017, 73 号 pp.29-46

(7) 古墳時代倣製鏡は舶載鏡のスクラップでつくられた 2018, 75 号 pp.1-26

『考古学と自然科学』研究ノート

漢式鏡に含まれる錫の産地についてー 2015, 68 号 pp.47-59

三角縁神獣鏡の原材料産地に関する考察 馬淵久夫 2013 考古学雑誌 98 巻(1) pp.1-49

三角縁神獣鏡の製作地について 馬淵久夫 2018 考古学雑誌 100 巻(1) pp.1-49